

一生に一度、本物の美しさを

Christmas Concert

音の森フィルハーモニー × 音の森 KIDS

ゲスト 指揮:松村優吾 / ソロ・コンサートミストレス:藤田有希

2015.12.25 (fri)

17 時 30 分開場 18 時開演
練馬文化センター 大ホール

チケット

一般 大人: 2000 円 小人(中学生以下): 1500 円
花まるグループ会員 大人: 1500 円 小人(中学生以下): 1000 円
※お申し込みの際は、花まるグループ会員の方のお名前でご登録下さい。

申し込み

下記のアドレスまたは音の森 HP からアクセスしていただき、チケットぴあを経由してお申し込みいただけます。

https://www.hanamarugroup.jp/usersystem/enquete_pre_form.php?en=1428



プログラム

◆ 第一部 - 童声合唱と小オーケストラ

《さくらさくら》 日本民謡唱歌曲集 梅北直昭(うめきたなおき)編作
《ボルカ》 ヨーロッパ民謡曲集(第一集) 坂村将介(さかむらまさゆき)編作
《キリエ》 中世ルネサンス聖歌集(第一集) 坂村将介(さかむらまさゆき)編作

◆ 第二部 - オーケストラ

P. チャイコフスキー バレエ組曲《くるみ割り人形》作品 71a (抜粋)
A. ドヴォルザーク 交響曲第 9 番 小短調 作品 95 《新世界より》第四章
F. メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 小短調 作品 64 第一章

音の森フィルハーモニーは、本物に触れて欲しいという思いから、プロの奏者を中心として設立されたオーケストラです。子どもたちに「本物を体感し、一生を彩る原体験」を味わってほしいという思いから始まった音の森スペシャルクリスマスコンサート。第一部では子どもたちとオーケストラの共演による、民謡と教会音楽をお届けします。幾度となく口ずさんでも飽きることの無いヨーロッパの民謡。普遍的な美しさを内包していて、西洋音楽のルーツでもある教会音楽。そして、私たちの「心の歌」と言える、すばらしい日本の民謡や唱歌。第二部では「メンコン」の愛称で知られるメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲や、チャイコフスキーの三大バレエの一つ《くるみ割り人形》。そしてドヴォルザークの代表曲 交響曲第 9 番《新世界より》を演奏いたします。本物の音楽と子どもたちの歌声が、皆様の心の琴線に触れることを願っております。



代表挨拶

念願であった、子どもたちがオーケストラの音に包まれる体験。圧倒的な響きの中に身を置くことは、一生を彩るほどの価値となるものです。私自身、中学校1年生の時に、オランダの大聖堂で、聖歌隊とオーケストラとともに演奏をしました。当時の感動的な体験は今もお心に刻み込まれています。あの素晴らしい経験を子どもたちにも…と思い続けて10年以上が経ちました。

今回共演する指揮者の松村優吾と、ヴァイオリニスト藤田有希とは高校からの同級生。二人とも海外から駆けつけてくれます。音楽を通して今も続くこの縁に、本当に感謝しています。

今日という日が子どもたちの心を豊かにするかけがえのない原体験の一つとなり、また、子どもたち同士が、音楽を通じて心をかよわせ、その繋がりが広がっていく。今回のコンサートがそのきっかけになればと心から願っております (代表 笹森壮太)

音の森 KIDS

音の森 KIDS とは、花まるメソッド音の森で、音楽教室 (集団授業: 小学校1~3年生 2015年末現在)、実技レッスン (個別: 3歳~) に通う子どもたちです。花まるメソッドに基づいて、子どもたちの特性を研究したカリキュラムで指導が行われています。特に音楽教室では、民謡歌唱教材『ぼるか』と教会音楽歌唱教材『きりえ』という教材を使って、クラシック音楽の土壌であるヨーロッパの言葉を原語そのままに子どもたちが歌っています。今回は、今年度の教材で取り組んでいる名曲の数々を、オーケストラとの共演でお届けします。また、花まるグループに通う子どもたちも加わる、日本の民謡・唱歌の演奏もお楽しみください。



指揮: 松村優吾 (まつむらゆうご)

桐朋女子高等学校音楽科作曲専攻を経て、桐朋学園大学音楽学部音楽学科指揮専攻を卒業後、イタリア国立ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ音楽院 Conservatorio di Musica "Giuseppe Verdi" di Milano 大学院修士課程に在学中。

指揮を黒岩英臣、Gianluigi Gelmetti、Vittorio Parisi、Dejan Savic、作曲を安良岡章夫、安藤久義の各氏に師事。2012年9月、イタリア政府主催の全芸術部門グランプリを決める Premio Nazionale delle Arti (イタリア芸術賞) 本選指揮部門に於いて第二位入賞。また同時に聴衆賞を受賞。2015年5月、ルーマニアのコンスタンツァで行われた Black Sea Opera Conducting Competition に於いて入賞、及び栄誉賞受賞。これまでにボメリッジムジカーリ管弦楽団、ブルガリア国立ルセ歌劇場等を指揮。



ソロ・コンサートミストレス: 藤田有希 (ふじたゆうき)

2歳よりヴァイオリンを始める。第53回全日本学生音楽コンクールヴァイオリン部門小学生の部第2位、東京都教育委員会より表彰される。2000年東京芸術劇場大ホールにて東京交響楽団主催の演奏会でソリストとしてデビュー。新宿文化センター主催、第一回ニューイヤー名曲ファミリーコンサートで東京交響楽団と共演。2006年までソリストとして招かれた他、飯森範親、山下一史、本名徹二、時任康文の著名な指揮者と共演。また、フィンランド国営放送主催、オッリ・コルテカンガスの世界初演オペラのコンサートミストレスを勤めるほか多数の演奏会にソリスト、コンサートミストレスとして出演。日本、フィンランドで多数のソロリサイタルを開催。これまでにヴァイオリンを原田幸一郎、竹澤恭子、富重祐、友永優子、ペトリ・アールニオの各氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科を卒業後シベリウス・アカデミー (フィンランド) に留学。2014年春、シベリウスアカデミー修士課程を修了し、現在日本とフィンランドを拠点に活動中。

音の森 フィルハーモニー

2015年に開校した音楽教育機関 花まるメソッド音の森により設立されたオーケストラ。メンバーは、代表 笹森壮太と指揮者 松村優吾を中心とした学生時代からの仲間など花まるメソッド音の森の教育理念に賛同する国内外で活躍するプロの音楽奏者から構成される。